

令和3年3月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一「花」 1960年代 デッサン(パステル)

「花」

1998年、東京国際美術館で「鷹山宇一卒寿記念展」が開催されました。展覧会の祝賀会で鷹山は、「若い時から売り絵作家だった私は、自分の研鑽の場として50代までの間、何千枚ものデッサンを描き続けて参りました。仕事の合間を見ては写生したり、素描をしたりの繰り返しでした。昆虫や植物も本物を見て描き続けたために様々なものを観察する訓練ができたお陰でしょうか。私は「花と蝶を描く作家」になりました。」と語っています。

鷹山の油彩画を見たときに感じる、ここではない幻想の世界へと引き込まれるような感覚は、その裏にある修練の賜物なのだろう。高い写実能力だけでなく、さらに目には見えない空気感さえも確かに捉え、描き切ってしまう。「自分の研鑽の場」として、画家として確立してからもなお、訓練を惜しまず、対象に向かい続けた鷹山だからこそ描ける唯一無二の幻想世界が創り出されるのでしよう。

鷹山宇一のデッサンから「花」をご紹介します。

パステルで描かれたこちらの作品は春の暖かな風と光を感じ、どこからか明るいメロデーが聞こえてきそうなそんな作品です。繊細な描線で捉えられた花々は、不思議と揺れ動いているかのような雰囲気を生み出し、軽やかに舞う2頭の蝶がリズムを添えます。

青森の春はあともう少し先かもしれませんが、一足早く皆様に春をお届けします。

学芸員 遠藤 未奈子

野外彫刻を訪ねて Part IV
湖畔の裸婦群像編

会いたいと思ひ訪問すれば何時でも会える、訪れるたび新鮮な表情で訪問者を迎えてくれる。そんな近隣の野外彫刻を季節を変え、時を変えて訪ねる旅を楽しんでいます。(文中敬称略)

○十和田湖畔「乙女の像」

詩人で彫刻家だった「高村光太郎」(一八八三〜一九五六)が制作した「乙女の像」に会いたくなつて令和二年十一月、十和田湖畔休屋を訪ねました。

空の青と湖の青、山の稜線に浮かぶ白い雲、既に落葉した木々と未だ紅葉を残す木々が混在する晩秋の御前ヶ浜に立つ二体の裸婦群像は、来るべき冬という季節を全身でしっかりと受けとめようとしているように見えました。

高村光太郎が青森県の要請をうけ、自ら十和田湖を視察、十和田国立公園功労者顕彰記念碑のための彫刻制作を決意し岩手県稗貫郡大田村(現在の花巻市太田)から東京都中野区に帰郷したのは昭和二十七年(一九五二)十月、万一の時に引き継ぐ彫刻家まで指名して始めた裸婦像

原型が完成したのは昭和二十八年(一九五三)六月、妻・智恵子

← 「十和田湖畔の裸像に与ふ」
高村光太郎(詩碑より)



銅とスズとの合金が立つてゐる。どんな造形が行はれようと無機質の図形にはちがひがない。はらわたや粘液や脂や汗や生きものきたならしきはここにはない。すさまじい十和田湖の円錐空間にはまりこんで天然四元の平手打をまともにもうける銅とスズとの合金で出来た女の裸像が二人影と形のやうに立っている。いさぎよい非情の金属が青くさびて地上に割れてくづれるまでこの原始林の圧力に堪へて立つなら幾千年でも黙って立ってろ。



1967年頃 夏
台座等の設計者は、青森県庁舎(1961年竣工)を設計した石川県金沢市出身文化勲章受賞建築家谷口吉郎(1904~1979年)。

の面影を残す向かい合う二体の裸婦群像の除幕式が行われたのは、同年十月二十一日、ときに光太郎七十一歳(智恵子没後十六年)、小雨が降る寒い日だったそうです。

「乙女の像」は、光太郎にとって戦後最初の、そして生涯最後の完成された彫刻なのだそうす。また、裸像の建立を追いかけるようにして作られた「十和田湖の裸像に与ふ」(同年十一月)と題した詩もまた光太郎にとつて殆ど最後の作品となつたそうです。

○小川原湖畔「玉代勝代姫像」

乙女の像を制作中の光太郎に助手として協力した方が東北町の小川原湖畔に設置されている「玉代・勝代姫像」の制作者で青森県野辺地町出身の彫刻家小坂圭二(一九一八〜一九九二年)ということを知り、姉妹の裸婦群像を昨年十一月下旬と本年二月中旬に訪問しました。

十一月下旬の姉妹像は、来るべき冬への備えを既に終えているように見え、本年二月の姉妹像は、二人して厳寒の冬に堪えながら水温む春の到来を待ち侘びているように見えました。

春になったなら秋田県田沢湖の金色に輝く「たつ子像」、岩手県御所湖「シオンの像」等、湖畔の裸婦像を訪問したい、夏には花巻



台座正面



市太田の高村山荘と平成二十七年(二〇一五)にリニューアルオープンした高村光太郎記念館、秋には福島県二本松市油井の智恵子生家と智恵子記念館を訪問したい、冬には「智恵子の花霞」という日本酒を福島県から取り寄せて、味わいたいと旅行計画を練りながら、新型コロナウイルス感染症の収束を待ち望んでいる昨今です。

○参考文献等

芸術 夢紀行シリーズ①智恵子抄
アルバム、日本の詩歌10 高村光太郎 発行所 中央公論社、一般社団法人 十和田湖国立公園協会ウエブサイト、その他

鷹山宇一記念美術館友の会
会員 照井壽一(八戸市)

キャシー中島 愛を綴るキルト展

5 / 1 (土) ~ 7 / 18 (日)

5月1日(土) ~ 7月18日まで
特別展「キャシー中島 愛を綴るキルト展」を開催します。

ハワイ生まれのキャシー中島さんは、タレントとして活躍する一方で、日本におけるハワイアンキルトの第一人者として知られています。

キャシー中島さんが生み出すキルト作品は、色彩豊かで海外でも高い評価を受けています。

平成11年に静岡県御殿場にパッチワーク美術館「スタジオK キャシー中島キルトミュージアム」をオープンし、他にも全国に六カ所のキルトスタジオを運営しています。



ボンネットスー (115x110cm)



ティナのワルツ (250x210cm)

表となる布と裏地となる布の間に綿を入れて、それを3枚まとめて縫い合わせることを「キルティング」、それを仕立てたものを「キルト」といいます。

明るく親しみやすいキャラクターではじけるような笑顔が印象的なキャシー中島さん。彼女が作り出すキルトは彼女自身の人生を写し出すかのような、家族、自然、故郷ハワイへの愛が沢山詰まっています。

本展は、キャシー中島さん本人のキルト作品に加え、彼女が語った言葉、綴ったエッセイ、そして写真などをご紹介します。

キャシー中島さん プロフィール

ハワイ生まれ、横浜育ち。タレントとして活躍する一方で、パッチワーク作家として創作や指導にあたっている。静岡県御殿場市のキルトミュージアムをはじめ、全国に5つのキルトスタジオを運営している。その芸術的才能は日本国内はもとより、パッチワークキルトの本場アメリカでのキルトコンテストにて数々の受賞歴があり高く評価されている。「ハワイの花を描く〜キャシー中島のスタンドグラスキルト」(ひとみ出版)、「キャシーマムのキルトで楽しいハワイアンスタイル」(日東書院)など著書多数。



「キャシー中島 愛を綴るキルト展」

会期：2021年5月1日(土) ~ 7月18日(日)
休館日：月曜日(但し、5月3日(月)は開館)
入館料：一般1000(800)円、高校・大学生400(320)円、
小・中学生200(160)円
※()内は前売り券及び20名以上の団体割引料金
※前売り券は、iJTB チケット取り扱いのコンビニ各店にてお求めいただけます。
iJTB 商品番号▶0256304(4月5日(月)から発売開始)
※その他各種入館料割引(10%割引)

【イベント】

キャシー中島ギャラリートークを予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、美術館ホームページにてお知らせ致します。

〈美術館ホームページ〉

<https://www.takayamamuseum.jp/>

鷹山宇一記念美術館

News & Report



▲第80回国際写真サロン展

【審査委員特別賞】

「蒼空」榎本 隆志 (和歌山県)

第80回国際写真サロン展

3 / 7 (日) ～ 3 / 21 (日)

国内では最も権威ある国際写真コンテストとして知られる国際写真サロン展。写真芸術の最高のものを集めて展覧会をするというのが趣旨で、応募作品の内容に制限はなく、プロ・アマ問わず応募できるのが特徴です。



今回の第80回展では海外部門5103点、国内部門4245点の応募の中から海外部門74点、国内部門45点を選ばれました。

会期中は写真が好きなお客様が多く見受けられました。

令和2年度を振り返って

本年度は予定していた展覧会の延期・中止という異例続きで、これまでに無い不安がつきまとう一年になりました。そのような中で「大正浪漫の寵児 竹久夢二展」は、コロナ対策を行いながらの開催でしたが、多くのお客様から喜びの声が聞こえてきました。本来であれば第20回展という節目の年となるはずだった「鷹山賞児童作品展」は中止。毎年沢山集まる子ども達の作品が見られなかったのはやはりちよつと寂しかったです。まだまだ思い通りに動けない状況が続きますが、来年度もまた、皆さんに喜んでいただけるような、そして安心してご来館いただけるような展覧会を目指して頑張ります。

令和3年度も皆様の
ご来館お待ちしております。
ます。



令和3年度

美術館スケジュール

※変更になる場合がございます。

キャシー中島

愛を綴るキルト展

5 / 1 (土) ～ 7 / 18 (日)

キャシー中島さんの愛の詰まったキルト作品をご紹介します。

同時併催

「民藝作家 石井キク展」

民藝作家・石井キクの色彩豊かな刺し物を紹介します。



第81回

国際写真サロン展

10 / 16 (土) ～ 10 / 31 (日)

1927年に始まった国際写真サ

ロン展(朝日新聞社・全日本写真連盟主催)の第81回展です。世界各国から出品され、写真表現や画像加工を駆使し、独創性と芸術性に富んだ写真作品を展示します。

第20回

鷹山賞児童作品展

2022年
11 / 14 (日) ～ 1 / 23 (日)

青森県内の小中学校児童生徒に作品を公募する「鷹山賞児童作品展」は、鷹山宇一の画業を顕彰するとともに、将来を担う子どもたちが、絵画制作を通して、豊かな感性と、自由な想像の喜びを味わってもらえたらと願い開催するものです。

本展では、入賞・入選に選ばれた作品を展示するとともに、20回展を記念して第1回展より審査員長を努める二科会評議員濱田進氏の作品と歴代の鷹山賞受賞作品を展示します。

鹿内コレクション展

2022年
3 / 1 (火) ～ 4 / 3 (日)

鷹山宇一作品の蒐集家として有名な鹿内秀雄氏が長年集めた30余点の鷹山作品を展示します。

令和2年度は少人数制のワークショップを行っていただきましたので、ご紹介致します。

令和2年度 鷹山宇一記念美術館
美術館あーとくらぶ

「マスクアクセサリーを作ろう」

1/23 (土)



1月23日(土)は「マスクアクセサリーを作ろう」です。コロナ禍でマスクは必要不可欠になりました。少しでも楽しくマスクを着用出来ればと、団体向けに行っているせんべいストラップをマスクアクセサリーにアレンジしました。実は、「美術館あーとくらぶ」に参加している皆さんはせんべい初挑戦！黒い棒状の粘土をハサミでできるとゴマの形になります。次に軽量樹脂粘土にせんべいの色を練り込ませゴマを押し当てたら、せんべいの型を押し当て完成です。小さなせんべいを沢山つくり、組み合わせさせてカンや磁石を付け脱着可能にしました。ゴマ切りの細かな作業お疲れ様でした。



おいしそうな「せんべい」をマスクに付けちゃいました。

令和2年度 鷹山宇一記念美術館
美術館あーとくらぶ

「七宝焼きをしよび」

2/20 (土)



2月20日(土)は「七宝焼きをしよび」です。とても人気の講座のため、午前と午後に分けて行いました。昨年度に引き続き「七宝焼きを楽しむ」です。ガラスの粉末である釉薬を竹ホセですくい銅板の面が全て隠れるようにのせ、仕上げにお好みでフリットをのせます。焼成したら完成です。ガラスが溶け合い思いがけない反応が見られるのもまた七宝焼きの醍醐味です。お互いの作品を鑑賞しながら、次回の挑戦の意気込みを語り合いました。



令和2年度 鷹山宇一記念美術館
美術館あーとくらぶ

「デコパージュをしよび」

3/6 (土)

3月6日(土)は今年度最後のWS「デコパージュをしよび」です。デコパージュは専用の糊でペーパーナプキンを切り貼りし最後に同じ糊でコーティングします。

今年度はバッグと巾着リュックのどちらかにデコパージュをします。2〜3枚の絵柄のペーパーナプキンを使いたいパーツに切り、組み合わせていくと自分だけのオリジナルの作品になります。配置に困ったときは、みんなに意見を聞いて、コミュニケーションを図りながら楽しいひとときを過ごしました。



せんべいストラップづくり

放課後子ども教室
／七戸町各小学校にて

1・2月に七戸町の各小学校で出張してせんべいストラップをつくりました。元気いっぱいの子とも達が作ったせんべいは格別おいしそうです。

お家の方食べないでくださいね😊



令和2年度のワークショップは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、募集人数を例年より減らし、代わりに回数を増やしました。またWS募集は、会報での告知の他七戸町近隣に絞り八力まで案内致しました。1・2月には、新たに七戸町教育委員会生涯学習課主催の「放課後子ども教室」の活動が加わりました。その様子を新聞で見た保育園から依頼が入り、また新たな活動の場をいただきました。

今年度の美術館あーとくらぶは中止することなく無事に終了致しました。「参加くださいました皆さまありがとうございます。」
来年度も様々なワークショップを企画致します。
皆さまのご参加お待ちしております。

教育普及員 織川孝子



3月5日/明照保育園

新聞記事を見たご依頼を頂きました。

参加してくれたのは、年長さん。なんと「お別れ会」だったのです。4月から別々の小学校にいくお友達。保育園最後の思い出にせんべいストラップづくり。楽しかったね。



美術館日誌

◆1月◆

▼1日(金)～3日(日) ▲年始休館



明けてまして
おめでとうございます。

▼6日(水) 防煙シャッター検査 (三和シャッター)

▼7日(木) 空調設備現地調査 (石川設計)

▼13日(水) WS(ワークショップ) 放課後(こども教室)支援員指導 (美術館2F/支援員7人・織川)



▲放課後子ども教室支援員指導の様子です。皆さん熱心に「せんべいストラップ作り」の学習をしています。

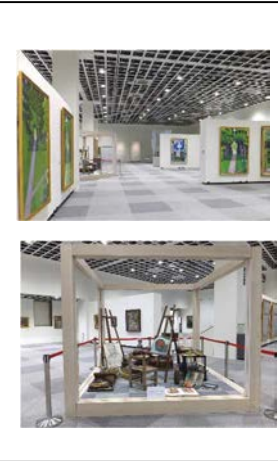
▼19日(火) 空調設備打合せ (生涯学習課・理事長・常務理事)

▼20日(水) WS 放課後(こども教室) (天小/織川)

▼23日(土) WS マスクアクセサリーを作ろう (美術館2F/織川・小林)

▼26日(火) 空調設備打合せ (生涯学習課)

伊藤正規展にアトリエ枠が出張



東奥日報社新町ビルで、開催していた伊藤正規展の様子です。
伊藤先生のアトリエ再現に使用された「アトリエ枠」。この枠は、鷹山先生のアトリエ再現の時に当館で使用しているものです。鷹山先生の時とは違った伊藤先生のアトリエを堪能できる空間でした。

▼27日(水) アトリエ枠返却 (青森スタジオ) WS放課後(こども教室) (天小/織川)

▼29日(金) アスベスト調査 (石川設計)

▼31日(日) 常設展最終日



▲スペイン館では鳥谷幡山、上泉華陽などの作品を展示いたしました。

◆2月◆



▼1日(月)～3月6日(土) 整備休館

▼2日(火)～3日(水) 作品撤去作業 (美術館スタッフ)

▼3日(水) 防煙シャッター工事 (三和シャッター)

▼10日(水) 自動ドア点検 (チブコシステム)

▼1312日(金) 絵馬懇談会準備 (生涯学習課)

▼1614日(日) 七彩会 (リンクス畑田氏) (美術館2F)

▼1614日(火) 絵馬懇談会 (美術館2F) 倉町観音堂 小田子不動産 生涯学習課 理事長・常務理事 館長 遠藤



▲絵馬懇談会の様子です。収蔵している絵馬を一点一点確認しています。

▼17日(水) WS放課後(こども教室) (七小/織川)

▼18日(木) 防煙シャッター工事 (三和シャッター)

▼2019日(金) 空調設備最終確認 (石川設計)

▼24日(水) WS七宝焼きをしよう (美術館2F/織川・小林)

▼26日(金) 青森放送中村氏来館 (遠藤)

▼27日(土) WS放課後(こども教室) (城南/織川) 国際写真サロン展作品搬入



▲国際写真サロン展の作品を展示している様子です。慎重に行っています。

◆3月◆



▼2日(火)～5日(金) 国際写真サロン展 作品展示作業 (美術館スタッフ) WS (昭徳保育園/織川・小林)

▼6日(土) 税理士山本氏来館 WSテコハーシユをしよう (美術館2F/織川)

▼7日(日) 国際写真サロン展看板取付け (青森スタジオ)

▼10日(水) 国際写真サロン展開催 RABラジオ電話中継 (織川)

▼11日(木) 青森放送GOMA展打合せ (美術館2F)

▼1613日(土) 七彩会 (美術館2F) 空調設備打合せ (生涯学習課・豊川氏)

▼2117日(水) 会報入稿 (柏文社) 国際写真サロン展最終日 (フォトセ戸)

▼2323日(火)～2431日(水) 作品撤去 (フォトセ戸) ▲展示替え休館 (美術館スタッフ)

▼27日(土) 友の会会報発送



▲国際写真サロン展開催



「七戸町に生息する蝶と鷹山宇一の描いた蝶(II)」

鷹山宇一記念美術館 研究員 對馬 康夫

(日本鱗翅学会会員)

2. 七戸町に生息する蝶を

鷹山宇一は何種類描いたのか

七戸町に生息する蝶49種をリストアップし、それに鷹山が描いた蝶の作品数、描かれた蝶の数と併せて代表作を示しました。(別表)。

鷹山は昭和22年の初作「少年の日の佛陀」から絶筆となった平成10年の「郷愁都市」まで52年間一貫して作品に蝶を描き続け、210作品に1392頭の蝶を描きました。描かれた蝶の種類はカラー図版133品を同定して129種が明らかになりました。七戸町に生息する蝶49種の2.6倍の種類を描いたことになり、また鷹山はセセリチョウ科



鷹山宇一が収集した蝶の標本を手にギャラリートーク中の對馬康夫氏

(別表) 採集全種標本と鷹山宇一が描いた蝶の作品数と蝶の数

| | 展示標本 | | 鷹山宇一が描いた蝶 | | |
|-----------------|------|---|-----------|-----|---------------|
| | ♂ | ♀ | 作品数 | 蝶の数 | 代表作 |
| ■アゲハチョウ科 | | | | | |
| カラスアゲハ | 1 | | 13 | 25 | 「少年の日の佛陀」(61) |
| キアゲハ | 1 | | 11 | 11 | 「森の馬」(116) |
| アゲハ | | 1 | 1 | 1 | 「少年の日の佛陀」(61) |
| ウスバシロチョウ | 1 | | 3 | 3 | 「山のかなたに」(64) |
| ■シロチョウ科 | ♂ | ♀ | 作品数 | 蝶の数 | 代表作 |
| モンシロチョウ | 1 | | 12 | 12 | 「遊蝶・花」(102) |
| スジホソヤマキチョウ | 1 | 1 | 1 | 1 | 「高原の花」(144) |
| キチョウ | 1 | 1 | 4 | 4 | 「早春譜」(173) |
| スジグロシロチョウ | 1 | 1 | 1 | 1 | 「花蝶」(73) |
| エゾスジグロシロチョウ | 1 | 1 | | | |
| ヒメシロチョウ | 1 | 1 | 5 | 5 | 「船渠の花」(171) |
| ツマキチョウ | 1 | | 20 | 21 | 「海辺の静物」(170) |
| モンキチョウ | 1 | 1 | 25 | 32 | 「牧歌」(89) |
| ■シジミチョウ科 | ♂ | ♀ | 作品数 | 蝶の数 | 代表作 |
| ルリシジミ | 1 | | 8 | 8 | 「森の花」(140) |
| スギタニルリシジミ | 1 | | 1 | 1 | 「朱不二」(122) |
| ツバメシジミ | 1 | | 2 | 2 | 「夜明けの静物」(172) |
| トラフシジミ | | 1 | | | |
| ベニシジミ | 1 | 1 | 20 | 23 | 「港の花」(165) |
| ゴイシジミ | 1 | 1 | 1 | 1 | 「高原の馬」(137) |
| ヤマトシジミ | 1 | 1 | 5 | 5 | 「緑陰の花」(133) |
| ■タテハチョウ科 | ♂ | ♀ | 作品数 | 蝶の数 | 代表作 |
| アサギマダラ | 1 | 1 | | | |
| ウラギンシジモウモン | | 1 | | | |
| オオウラギンシジモウモン | | 1 | | | |
| ミドリヒョウモン | 1 | | | | |
| メスグロヒョウモン | | 1 | | | |
| クモガタヒョウモン | | 1 | | | |
| ウラギンヒョウモン | 1 | 1 | 1 | 1 | 「花・遊蝶」(104) |
| イチモンジチョウ | | 1 | | | |
| ミスジチョウ | | 1 | | | |
| コムスジ | 1 | | 4 | 4 | 「波濤の歌」(91) |
| サカハチチョウ | 1 | 1 | 1 | 1 | 「月明」(128) |
| シータテハ | | 1 | 1 | 1 | 「遊蝶・花」(88) |
| キタテハ | | 1 | 6 | 6 | 「遊蝶・花」(105) |
| ルリタテハ | | 1 | 11 | 11 | 「浜辺の歌」(143) |
| クジャクチョウ | | 1 | 6 | 6 | 「黒髪」(96) |
| ヒメアカタテハ | | 1 | 3 | 3 | 「白影」(93) |
| アカタテハ | | 1 | 19 | 19 | 「牧歌」(89) |
| コムラサキ | 1 | | | | |
| ゴマダラチョウ | 1 | | | | |
| オオムラサキ | | 1 | 9 | 9 | 「風景・静物」(86) |
| ヒメウラナシヤノメ | 1 | | 2 | 2 | 「夜明けの静物」(172) |
| ヒマキマダラヒカゲ | | 1 | | | |
| ヤマキマダラヒカゲ | 1 | | | | |
| ■セセリチョウ科 | ♂ | ♀ | 作品数 | 蝶の数 | 代表作 |
| スジグロチャバネセセリ | 1 | | | | |
| ヘリグロチャバネセセリ | 1 | | | | |
| ミヤマチャバネセセリ | | 1 | | | |
| コキマダラセセリ | 1 | | | | |
| タビョウセセリ | 1 | | | | |
| イチモンジセセリ | 1 | | | | |

※作品名の後の(数字)は鷹山宇一画集の作品番号

の蝶をほとんど描いていません。別表の七戸町に生息する蝶と鷹山が描いた蝶を対比すると、49種中28種が描かれており、セセリチョウ科

6種とタテハチョウ科の約半数が描かれていませんでした。描かれた蝶は鷹山が描いた蝶のベストファイブにランクされる蝶、モンキチョウ、アカタテハ、カラスアゲハ、ベニシジミ、ツマキチョウであり、次いで多く描かれた蝶は家の周辺、畑などでよく目にするモンシロチョウ、ルリタテハ、キタテハ、クジャクチョウなどです。

鷹山が描いた七戸町の蝶は美術館の庭や周辺の空き地で、最も多く見られる蝶たちです。春最初に顔を見せるモンキチョウ、モンシロチョウやルリシジミ、ツバメシジミから初夏、暑い夏の盛りにベニシジミが、そして晩秋にルリタテハやクジャクチョウが美術館の壁で日向ぼっこをする姿を目撃します。

まるで鷹山宇一記念美術館が鷹山の描いた蝶たちを呼びよせているかのようです。

野外彫刻を訪ねて Part V
十和田市・五戸町編

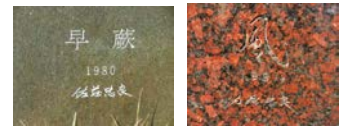
宮城県出身の彫刻家佐藤忠良（一九二〇～二〇一〇）の代表作「帽子・夏」等のモデルを務めた山口県徳島市出身の彫刻家笹戸千津子（一九四八～）の作品を鑑賞したいと思つていましたが、昨年十一月に五戸町図書館前で「少女」という作品を鑑賞することが出来ました。図書館職員から頂いた資料には「前略。東京造形大学は彫刻家の佐藤忠良らが創設に尽力した大学であり、彼女は第一期生だった。その関係もあり、佐藤忠良のモデルを三十年あまり務めた。後略」等、モデルになった経緯が記載されていました。



五戸町図書館前風景(2021年2月)
○マスク着用、手洗い、ウガイ等、感染予防対策が身につけてきたこの頃です。



少女
彫刻 千津子



右の写真は、十和田市現代美術館付近の「風」と中央病院前の「早蕨」と題する彫刻ですが、ともに佐藤忠良の作品でした。秋晴れの週末にぶらりと出かけた近隣の野外彫刻訪問は、思いがけず見たいと思つていた笹戸千津子の「少女」に出会い、彼女がモデルとなった「早蕨」等の素敵な作品に出会うことが出来た楽しい訪問になりました。（文中敬称略）

○参考資料等 宮城県公式ウェブサイトに、宇部市公式ウェブサイトに、その他
*早蕨（さわらび）：芽を出したばかりのワラビ。

鷹山宇一記念美術館友の会
会員 照井壽一（八戸市）

新規会員入会お誘いのお願いと
友の会会員登録更新のお願い

令和二年度も会員の皆様には友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。新年度も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行（年2～3回）
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他（美術講演会の開催等）

○一般会員

年会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

○特別会員

年会費 1万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員と

○賛助会員

年会費 2万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員と

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★ミュージアムグッズ紹介

鷹山宇一画集、素描集、ポストカード、特別展や季節の行事に合わせたグッズ等を販売しています。ご利用願います。お問合せ先 鷹山宇一記念美術館



編集後記

令和二年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の渦中、会報作成にあたって会員各位の投稿を頂き有り難う御座いました。特に第百号記念特集号発行の際には、お祝いの言葉、お便りをお寄せ頂き心から感謝申し上げます。新年度もご協力を宜しくお願ひ申し上げます。（照井壽一）